

中小企業のデジタル活用の進め方

(2023年12月7日(木)「中小企業のデジタル活用応援フェア」より)

オフィス
イーグレイション
代表
吉村 好広氏



デジタル活用は企業の競争力を高めるために必須であり、中小企業の経営者も課題認識は持たれています。しかし、実際にどこから着手したら良いのか、どのように進めるのが良いのかといったお悩みもあるようです。デジタル活用の進め方について、大きく4つの視点で説明します。中小企業・小規模事業者様のDXの推進、生産性向上の一助となれば幸いです。

1. デジタル活用の意義とDX(デジタルトランスフォーメーション)の理解

「デジタル活用」は「デジタル技術によるデータ化への仕組み作りとデータの連携、蓄積、検索、分析などにより売上や生産性を向上させること」と言えると思います。そこで、デジタル活用を考える上で「DX」は重要なキーワードと言えるでしょう。DXは経営ビジョンを実現するために、サービスやビジネスプロセスの変革と、そのための企業文化・風土、組織を変革することであり、これは大企業だけが進めるものではなく、経営者のリーダーシップが発揮できる中小企業こそ実践すべきマネジメントシステムであると思います。DXを推進する上でデジタル活用は必須であり、すさまじく進化するデジタル技術を知ることは重要です。

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもち、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

出所：経済産業省 DX推進ガイドライン

- 今日、デジタルを活用した装置の革新や、イノベーションな製品・サービスが競争力を決する大きな要素となっており、デジタルを最大限に活用するには企業へ生まれ変わることが必要不可欠
 - 企業は、従来のIT化からデジタルトランスフォーメーション(DX)へと移行する必要
- | | |
|------------------|------------------------------------|
| 従来のIT化 | = 一部の業務・機能のデジタル化 |
| デジタルトランスフォーメーション | = 経営のやり方 製品・サービス デジタル領域で 根本的に見直すこと |
- コロナ禍は社会のDXを加速したが、更なるDX推進のため、阻害要因となっている古い企業文化(固定観念)を克服する必要
- 出所：経済産業省 DX設定制度概要

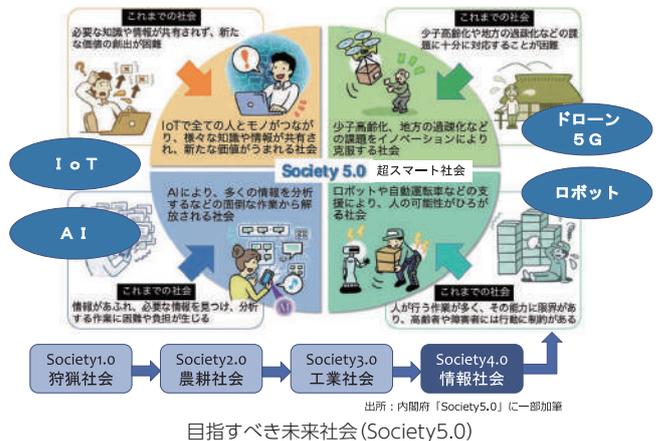


デジタルトランスフォーメーション(DX)

2. 最新の技術を知る ~IoT・AI・ロボット~

デジタル革新により社会が抱える様々な課題を解決しようとする、目指すべき未来社会としてSociety5.0が示されています。ビジネスにおいては、IoTで大量のデータを収集し、集めたデータがBIGDATAとなり、AI(人工知能)で分析し、業務改善や経営改革に反映させるというサイクルにより新たなサービスやビジネスモデルが生まれています。例えば、一部の企業ではこれまでは「モノを作って売って終わり」というビジネスから「モノがどう動いているか」

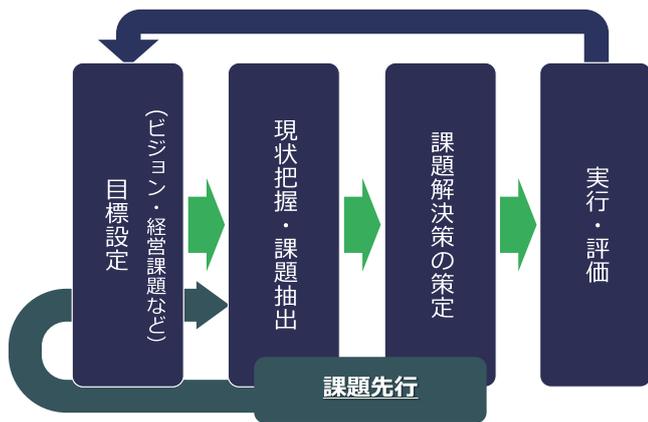
をスマホで確認できるサービスを始めています。つまり「モノからコト」への変革です。通信速度も5G、Beyond5Gと高速化され、既に人と並んで仕事ができるロボット(協働ロボット)なども実働しています。AI分野では画像診断や予測予知への活用が進んでいます。さらに昨今は2022年11月に発表された「ChatGPT」に代表される「生成AI」が注目され今後さらに進化し普及することでしょう。情報の流出や権利問題などセキュリティ面での運用ルールを決め、対策した上で積極的に使用しビジネスへの活用を研究しましょう。(参考：東京商工会議所の「中小企業のための『生成AI』活用入門ガイド」)



目指すべき未来社会(Society5.0)

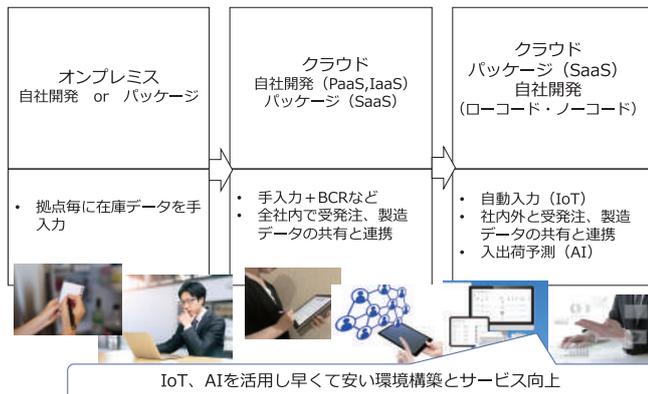
3. デジタル活用の進め方 ~DXプロセス~

デジタル活用の進め方として、まずは目標を設定し、現状把握・課題抽出、課題解決策の策定・計画、実行・評価と進めます。現状把握や課題解決策としてデジタル化は有効であり積極的に活用します。例えば、「経験・勘・思い込み」ではなく、データにより事実を可視化することで、真の課題発見と解決に繋がることがあります。また課題解決策として社内業務におけるシステム化を考えた場合、従来のパソコンへの入力、社内サーバでのデータ格納(オンプレミス)から、タブレットやスマホなどのデバイスを活用したデータ入力、クラウドを活用したデータ保存などが選択できるようになりました。さらにIoTによるデータ入力そのものの自動化、AIによる見積りや受発注の自動化、データの社内外での共有など最新のデジタル技術の活用で進化しています。デジタル活用の基盤作りや身近な課題解決を目的としてスモールスタートでIoTやAIを活用することから始めてみましょう。IoTやAIの活用は簡易なパッケージもあり安く早く導入することも期待できます。しかし、デジタル化、デジタル活用は目的ではありません。目標設定(経営ビジョン、経営課題など)に立ち戻って課題解決のプロセスを整理し、効果进行评估しながら継続して取り組むことがDXに繋がると言えます。



出所：(一社) AI・IoT普及推進協会 DXプロセスガイドラインより筆者修正加筆

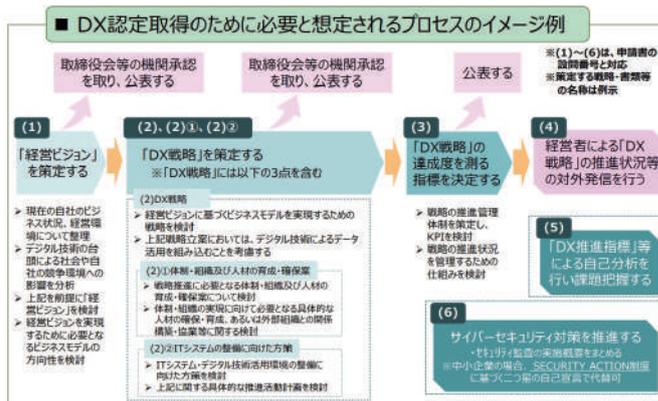
最先端のDX実現手法 (DX Process)



4. 支援制度

DXを進めるには「DX認定制度」が1つの指針になるのではないかと思います。DX認定制度とは、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度です。

また、デジタル化を推進する支援制度として来年度も継続して中小企業生産性革命推進事業 (ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金、事業承継引継ぎ補助金)の概算要求が行われていますのでこれら補助金や外部専門家の活用を商工会議所など支援機関と相談しながら進めるのが良いかと思います。



出典：経済産業省「DX認定制度 申請要項 (申請のガイダンス)」

DX認定取得のためのプロセスイメージ

デジタル化に関するアレコレを気軽に相談いただけます

ITコンソーシアム姫路

中小・小規模企業の生産性向上に資するデジタル技術の利活用支援を強化するため、地域のIT支援業者と連携し、「ITコンソーシアム姫路」を立ち上げました。IT支援業者との連携により、中小・小規模企業の課題を明確にし、付加価値の向上、省力化、効率化による生産性向上に向け、適切なIT導入の支援を行っています。

支援の流れ



対応分野

- 顧客対応・販売支援
- 決済・債権債務・資金回収
- 会計・財務・経営
- 総務・人事・給与・労務・法務・情報
- 供給・在庫・物流
- 生産管理
- 生産性向上
- 汎用・自動化・分析
- セキュリティ
- など

相談申込

相談の申込はこちらから



毎週木曜日開催、IT相談窓口でも相談をお受けしています！

問合せ先 産業政策担当 TEL 079-223-6555 MAIL: kougyou@himeji-cci.or.jp